

平成29年度 第2回大和市総合計画審議会 会議録

- 1 日 時 平成29年7月25日（火） 10時00分～11時50分
- 2 場 所 市役所本庁舎5階 第6会議室
- 3 出席者 委員12名
井川、池田、宇佐美、小川、川渕、小須田、春原、田中(孝)、田中(寛)、
富永、中林、長谷川 （委員、敬称略）
（欠席1名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 次 第
1 開会
2 議題
（1）次期総合計画策定の方向性について
（2）施策評価について（部会の割り振り等）
（3）市民意識調査結果の追加報告について
3 その他
- 6 会議資料
- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 資料 1 | ：次期総合計画策定の方向性について |
| 資料2-1 | ：施策評価の実施について |
| 資料2-2 | ：施策評価における部会の委員構成と取り扱う「個別目標」について |
| 資料2-3 | ：平成29年度施策評価（二次評価）シート |
| 資料2-4 | ：第8次大和市総合計画「成果を計る主な指標」の推移 |
| 資料 3 | ：平成28年度 第8次大和市総合計画に関する市民意識調査集計結果（概要） |

【議 事】

- 会長 ； 議題（1）次期総合計画策定の方向性について、事務局に説明を求める。
- 事務局 ； **【資料1について説明】**
- 会長 ； 次期計画は平成31年度開始のため、予算編成作業を踏まえると、平成30年度前半には基本構想及び基本計画を策定する必要があると考える。計画期間について、資料1の中に前期基本計画5年、後期基本計画5年とあるが、今回、前期・後期のそれぞれを策定するのか。
- 事務局 ； 今回は10年の基本構想と、前期5年の基本計画を策定していく考えである。
- 会長 ； 実施計画はどのようなものを策定するのか。
- 事務局 ； 実施計画は3年スパンのものを作成し、毎年見直しを行うことを想定している。
- 会長 ； この審議会では、次期総合計画が策定されても、第8次総合計画と同様、基本計画の進行管理をしながら次の後期基本計画を策定することになるという理解でよいのか。
- 事務局 ； そのとおりの想定でいる。
- 委員 ； 健康は本来、ファンダメンタルなもの。健康になったうえでどのような「ま

- ち」を目指すのか、というビジョンが現計画では見えにくい。次期計画に向けては、中長期で目指すべきまちのあり方について、審議会で議論した方が良い。
- 会長：健康創造都市の具体的な目標やイメージは、基本構想に表される。健康創造だけで終わるのではなく、健康創造の先にどのような都市・社会が展開されるのか、基本構想を検討する中で、方向性や内容について具体的に議論していく必要がある。
- 委員：対外的に評価されていることを踏まえて現行計画をベースにしていこうとする方向性について確認したいのだが、その評価は人の健康だけでなく、まちや社会の健康も含めた広い意味でなされたものなのか。
- 事務局：WHO では、心身のみならず社会的に健康であることも含めて健康と定義している。WHO や国から評価されている中で、具体的には、保健師や管理栄養士が外に出向いて栄養指導などをして、健康改善につながる取組等が高く評価されているとともに、健康をキーワードに全ての事業を体系づけて取り組んでいることも評価されていると聞いている。
- 会長：健康と似たような言葉として、まちに関しては健全がよく使われるが、最終的に体だけでなく、精神や活動等を含めて、健康な人たちが集まっている都市、というのが一つのめざす方向ではないかと考える。災害や社会状況で人の健康が損なわれることの無いようにする必要がある。高齢化は避けられないため、健康に不安がなく生涯を過ごせるような安全・安心なまちが、健康都市のイメージだと思う。まちは人が健康に過ごすための場、社会は健康に過ごすための組織・仕組みであることが重要なのではないか。
- 委員：健康に関しては誰も否定しないと思う。昭和 30 年代のまちの開発では、長期的に目指す姿が住宅都市なのか工業都市なのか、という選択をしていた。時代は違うが、市民がどのようなまちを望んでいるのかを考えていくべきである。
- 会長：議論の方向性について、人・まち・社会の繋がりをきちんと考える必要がある。また、人・まち・社会の3つの健康に加えるとすると、財政の健康を第4の健康とするのも良いのではないか。そう言った内容も議論していきたい。
- 会長：議題（2）施策評価の進め方について、事務局に説明を求める。
- 事務局：【資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料2-4について説明】
- 会長：各部会で10項目程度評価することになると考えているが、H26～H28のみの評価で良いか。資料2-3、がん検診の受診率について、H24～H25の評価時は受診率が向上しているが、H28年は受診率が下がっている。その辺りをどのように評価するのか。後期基本計画のまとめのような評価の仕方はしなくても良いのか。
- 事務局：基本はH26～H28年度の3か年分を評価いただく。ただ、これまでの評価を踏まえ、次期計画の策定に向けた総括的な内容が加わることも想定している。
- 会長：承知した。
- 委員：最終目標値が実績と乖離している指標もあるが、第8次後期基本計画期間

- 中で見直すのか。それとも次期計画での見直しとなるのか。
- 事務局：指標は計画の実行性を高めるために設定している面もあることから、基本的には計画期間中に変更することを想定していない。
- 会長：既に目標を達成している施策は、次期計画で見直す必要がある。目標値と実績が乖離している施策などは、目標値を設定する際の参考とする。部会について、例えば第2評価部会の委員が第1評価部会に出席することは可能か。
- 事務局：可能である。
- 会長：議題(3)市民意識調査結果の追加報告について、事務局に説明を求める。
- 事務局：【資料3について説明】
- 会長：年齢別で算出していただいた。41ページの「大和市は買い物しやすいと思う」については、やはり高齢者の方が低い結果となっている。
- 委員：46ページ以降の30%以上多い、15～30%多い、についてどのように計算しているのか。
- 事務局：全体の結果と比べて上か下か、分かりやすくするため、3割以上多い場合等に色付けしている。
- 委員：全体の母数と10歳代の母数が違うため、パーセントの意味合いが大きく違う。意図は分かったが、割合の差ではなくポイント差で色付けした方が良いと考える。
- 会長：年代別の分布が正規分布に近いと、標準偏差が出るが、サンプルが少ないと分布が違うのであまり意味がない。
- 委員：回答人数の少ない10歳代は極端な結果が出て、目を引きやすい。年齢を3区分にまとめた方が判断しやすい。
- 会長：10歳代と20歳代を合わせるのも良いかと考える。
- 委員：t検定に加えて分散分析を行うことで、男女、年齢階層、項目によって違うのか、統計的有意さを調べることができる。52ページの若年性認知症に対する取り組みについては、男女差がはっきりしていると思うが、さらに分散分析やt検定を行ってみるのも良い。
- 事務局：t検定の結果でH26年度の調査に比べH28年度に「そう思う」と回答した人の割合が低下したことが確認できた3項目については、更なる分析を進めてその背景を掘り起こすと良いと考える。
- 事務局：検定についてはさらなる精査が必要だが、H23年度の調査も比較してみたところ、H26年度だけ良い結果が得られた項目もあった。その背景には、積極的な施策の展開を図っていたことも考えられる。ただ、H28の状態が悪くなったとも言いきれないと思う。
- 委員：新しい施策を実施して意識調査の結果が良くなったならば評価できると思うが、その成果で大きく実績が上昇したのか、あるいは特に新たな施策を実施せずにじわじわ上昇したのかなどを見極めるのが、施策評価のポイントであると考えます。
- 会長：飛行機の騒音、医療サービス、文化関係施設など、アンケートのタイミングや施設ができたタイミングで評価が変わることも考えられる。他の検定手法で分析する価値もあるだろう。

- 委員 : 財政の健康という会長の意見は共感できる。その上では、この市民意識調査結果に、市民がどうコミットメントしているのか、という視点が抜けている。例えば財政的に見て、医療を受ける市民の割合や、市民のサポートによって市の予算がどれくらい減ったのか、などが分析されていないため、今後市民がどの様に関わっていったら良いかが見えないと思うが、どうか。
- 事務局 : 総合計画の進行管理上、過去との比較のために、極力これまでと同じ設問で市民意識調査を実施している。
- 委員 : 少子高齢化の世の中で、地域の高齢者の見守りや熱中症対策など、こういった機会に積極的にアピールしていく必要があると考えている。
- 事務局 : 総合計画は最上位計画であるため、このような調査となる。委員ご指摘の高齢者対策などについては、高齢者や介護の個別計画等で取り扱うものと考え。それらの計画と連動しながら、エッセンスを総合計画に取り込んでいければ良いと考えている。
- 委員 : 既に他計画で得られている情報ならば、この審議会でも示していただいた方が良い。
- 会長 : 今年度の前半は、後期基本計画の施策評価を行っていく。後半は次期総合計画策定に向けた作業が始まるので、全ての委員には、11月頃までに資料を読み込んでいただきたい。
- 会長 : その他について、事務局から何かあるか。
- 事務局 : 次回は8月18日午後に第1評価部会、8月23日午前に第2評価部会を開催する。部会の開催回数が増えているので、ご協力をお願いしたい。
- 会長 : これまでの経験から、部会は時間がかかるため、開催時間について、午前の場合は9時半から、午後は13時30分開始してはどうか。
- 事務局 : 事務局からも、その様をお願いしたい。
- 一同 : 異議なし
- 会長 : 本日の議題についての議論は、以上とさせていただきます。

以 上